



## 150年ぶりの里帰り

戊辰戦争の前年に京都で自害した「都城六烈士」の御霊を慰霊碑に移す祭儀が12月26日、旭丘神社祖霊社（都島町）で行われました。

六烈士は、都城島津家の隊士として出兵し無念の死を遂げた6人の若者で、墓碑は京都に残されたままでした。6人の御霊を里帰りさせるために、数年前から「都城島津を温る会」が準備。御霊は、市民から寄付を募り建立した慰霊碑に分霊され、150年ぶりの里帰りが実現しました。祭儀には会員ら約40人が参列し、故郷都城での安らかな眠りを祈りました。



六烈士御分霊鎮座祭

## 新年を迎える準備

都城盆地に伝わる年越しの風習「シラスまき」が12月29日、愛宕神社（今町）で行われました。乾燥すると真っ白になるシラスを雪

や塩に見立てて境内を清め、一年間の五穀豊穡と無病息災に感謝して新年を迎える伝統の行事。地元公民館の氏子ら8人が、約2トンのシラスをスコップやほうきなどで境内にまき、新年を迎える準備を整えました。氏子総代表の中馬樹美郎さん（今町）は「参拝する人になすがすがしい気持ちで、新年を迎えてもらえればうれしい」と息を白くしていました。



シラスまき

## 力を込めてモグラ退治

農作物に害をもたらすモグラを退治し、五穀豊穡を祈願する正月の伝統行事「モグラウチ」が1月6日、乙

房町平田地区で行われました。地元の小学生ら約30人が保護者と一緒に220戸ほどを訪問。「モグラウツがきたど」とはやし唄を歌いながら、縄の先端に結んだたわらの打ち具を庭先の地面に打ちつけモグラを追い払い、お札に菓子などをもらっていました。満永昌孝さん（乙房町）は「地域の人たちと一緒に打ち具を作れて、子どもにとって良い経験になった」と話していました。



モグラウチ

# 年末年始のあれこれ



市内各所で年末を彩るイルミネーションや、正月を迎える行事、五穀豊穡を祈願する新年の行事などが行われました。平成30年元旦は、美しい初日の出も見ることができ、明るい1年の始まりとなりました。



初日の出



興玉神社夜神楽大祭



山之口町富吉・新春初詣健康マラソン大会



中心市街地クリスマスイルミネーション